

二酸化塩素タブレット「AC plus」の実地試験（空中浮遊菌）

—試験報告書—

試験番号：217097N



株式会社 食環境衛生研究所

群馬県前橋市荒口町 561-21

Tel027-230-3411

Fax027-230-3412

1. 表題

二酸化塩素タブレット「AC plus」の実地試験（空中浮遊菌）

2. 試験番号

217097N

3. 目的

試験資材である二酸化塩素タブレット「AC plus」を実地に適用して、その効力を確認することを目的として実施した。

4. 試験管理組織

試験依頼者の名称及び所在地

名称 株式会社 ASK

所在地 名古屋市天白区植田南 2 丁目 111 HP 植田ビル 2F 20-C

実施機関の名称、所在地及びその長の氏名

名称 株式会社 食環境衛生研究所

所在地 群馬県前橋市荒口町 561-21

氏名 代表取締役 久保 一弘

試験実施責任者の氏名

鈴木 達也

試験担当者の氏名

宮本 正志

5. 試験実施施設

実地試験実施施設の名称及び所在地

名称 株式会社オールドアンドニュー

所在地 東京都豊島区目白 2-16-22 久野ビル 3F

試験室 事務所及び応接室

細菌検査実施施設の名称及び所在地

名称 株式会社 食環境衛生研究所

所在地 群馬県前橋市荒口町 561-21

6. 試験期間

実地試験実施日：2021年5月28日

細菌検査実施日：2021年5月28日～2021年5月30日

7. 試験資材

二酸化塩素タブレット「AC plus」

8. 試験設計

試験室	サンプリング時点
事務所	開始時、20分、40分及び60分
応接室	開始時、20分、40分及び60分

9. 試験方法

【実地試験】

- ①実地試験実施施設の事務所及び応接室のおおむね中央にエアースンプラー（写真1）を地上から100cmの高さに設置した。
- ②エアースンプラーに標準寒天培地を取り付け、100Lの空気を吸引し、開始時のサンプリングとした。
- ③開始時のサンプリング終了後、試験資材を取り付けた空調を稼働した。なお、試験資材の取り付け及び空調の設定は試験依頼者が実施した。
- ③空調稼働後、20分、40分及び60分について、②と同様にサンプリングを実施した。
なお、標準寒天培地は時点ごとに新しいものを使用した。
- ④サンプリング後の標準寒天培地は、細菌検査に供試するまで保冷剤とともにクーラーボックス内で保管した。

写真1:エアースンプラー



【細菌検査】

- ①サンプリング後の標準寒天培地を細菌検査実施施設に移送した後、37℃、好気条件で48時間培養した。
- ②培養後、培地上に発育したコロニーを全て計数し、空気100L中の生菌数とした。

10. 結果

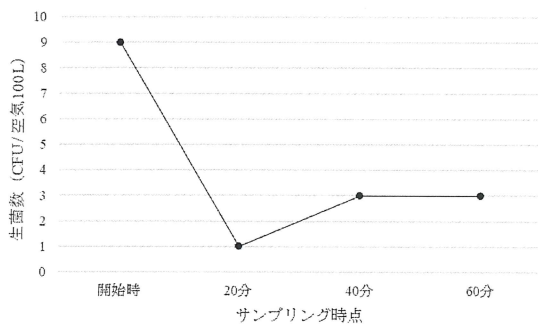
試験結果を表1に、事務所及び応接室における生菌数測定結果の推移をグラフ1及びグラフ2に、判定時の培地の写真を写真2及び写真3に示す。

事務所及び応接室ともに、開始時と比較し試験資材を取り付けた空調を稼働後20分、40分及び60分で空气中的生菌数は減少した。

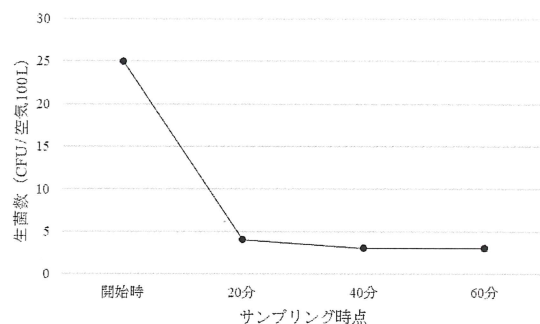
よって、試験資材である二酸化塩素タブレット「AC plus」を取り付けた空調を稼働した場合、空中浮遊菌が減少する可能性が示唆された。

表1:試験結果

試験室	生菌数 (CFU/空気100L)			
	開始時	20分	40分	60分
事務所	9	1	3	3
応接室	25	4	3	3



グラフ1：事務所における生菌数測定結果の推移



グラフ2：応接室における生菌数測定結果の推移

写真2:判定時の培地の写真(事務所)

左から開始時、20分、40分及び60分

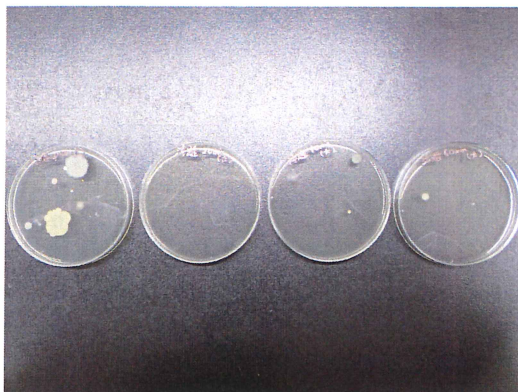


写真3:判定時の培地の写真(応接室)

左から開始時、20分、40分及び60分

